

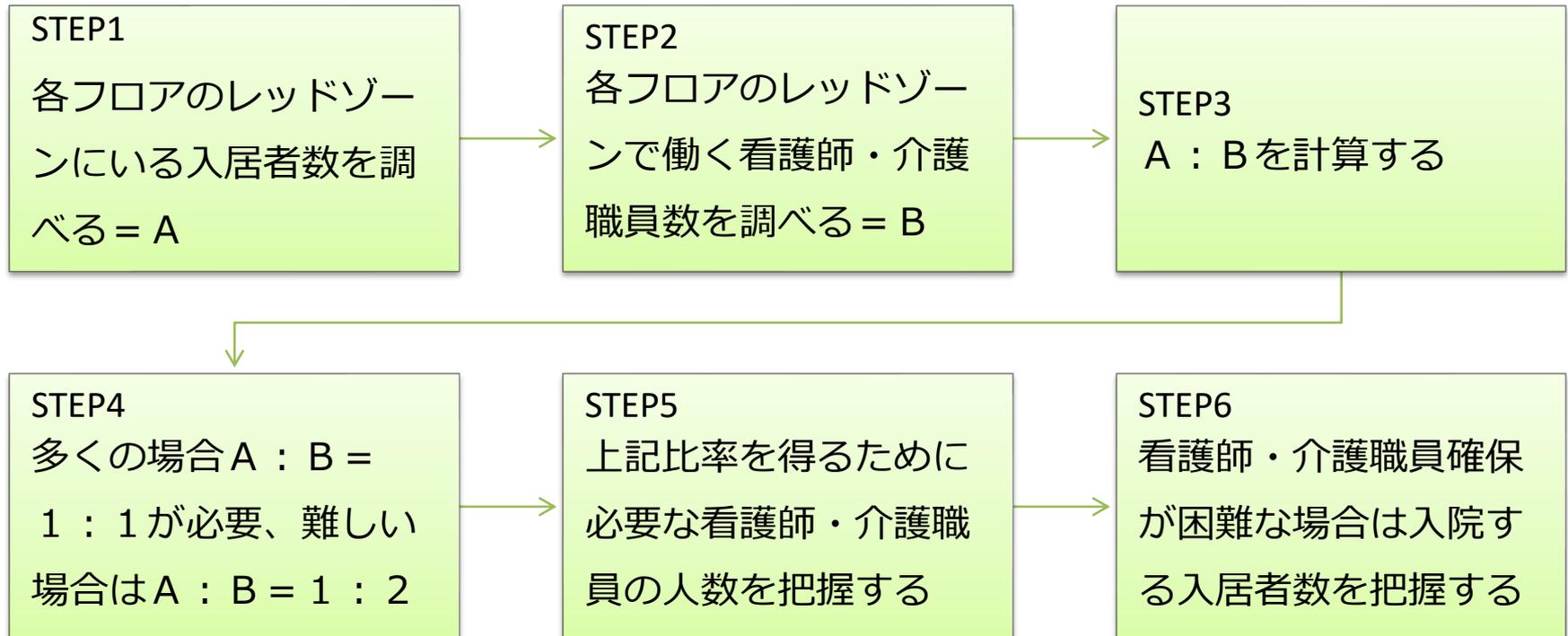
E. 人的資源管理

人事担当者がんばれ

- 職員不足の見積、復帰職員の見込を把握する
- 濃厚接触者と感染者の復帰を見積もる
- 応援体制について

職員の不足の見積もり

札幌市新型コロナウイルス感染症対策本部 医療支援グループ（非公開資料）より改変していますので、病院でのクラスター対策をもとに書いています。



就業制限の解除、職場復帰について

PCR陽性者
有症状者の場合

- 発症日をゼロ日として、10日間経過し、かつ症状軽快後72時間経過した場合

PCR陽性者
無症状者の場合

- PCR陽性をゼロ日として、10日間経過し、かつ症状軽快後72時間経過した場合

濃厚接触者の場合

- PCR陽性者との最終接触日をゼロ日として、14日無症状で経過した場合

濃厚接触者が勤務継続する上でルール

札幌市保健所資料より

濃厚接触者は、PCRが陰性であっても、本来は最終接触後14日間の外出自粛、健康観察となります。下記のルールを確認した上で、勤務継続をご検討ください。

1. 職員本人の同意がある。

(濃厚接触者となっている上で勤務することについて)

2. 感染管理が徹底されている。

(ゾーニング、PPE着脱、感染管理ルールなど)

3. 健康観察が徹底されている。

(14日間は発症の可能性があるため)

4. 他のリスクなし・低リスクの職員との動線が分離されている

(可能な限り、玄関、ロッカー、休憩室などを分離する。)

応援体制について

- 保健所や行政に相談するのが良いが、なかなか難しいのが現実
- 支援を速やかにする必要があるが、非常に困難
- 同一法人内からの支援が現実的
- 各都道府県などでステークホルダーに働きかける取り組みがある
- 一度クラスターになったところの職員などが応援してくれることもある
- 自分の施設が応援する気持ちにならないものを他の施設に期待するのはやっぱり難しい